

【創出していく子どもとしてねらう姿】

「親切、思いやり」は、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心をもち親切に接することに関する内容項目である。

思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。4年生の児童は、様々な人との関わりが次第に増えていく中で、相手の気持ちを察したり、相手の気持ちをより深く理解したりできるようになる。だが一方で、個人差があって、大切なことを言えなかったり後先を考えないで行動したりということがまだある時期でもある。

副読本には「視覚障がいの方」「お年寄り」「ギブスをはめた男の子」を思いやりの対象にしたお話が載っているが、相手の置かれている状況や悲しい気持ち等をより自分のこととして想像していくことができるようにと考え、学級内で起こりやすいことを取り上げ、自作の教材文を準備した。思いやりについて自分の生活経験に立ち返りながら考え、思いやった後、親切にした後に、相手が恐縮しすぎるようであれば、思いやりの度合いが軽減することに着目できるようにしたいと考える。先のことまでも考えて、相手を思いやって、今まで以上により深く相手のことを思いやっていく姿を期待している。将来的には、外見では判別しにくい目に見えない障害についても、相手を深く見て、思いをつないでいけるようになることを願っている。

【視点① 子どもが考えることを楽しめる授業構成】

(1) 「勇気」を基盤にした「親切、思いやり」

本主題では、まずは正しいと思ったことを行動していくことのよさについて学ぶことを出発点とした。思いやりの気持ちを親切という行動に移していくことを、容易ではないが大切なこととして肯定しながら学ぶことが、本主題の素地になると考えた。「親切、思いやり」の道徳的な心情が児童に肯定されることが、この後の学びの大前提となる。その上で、より他者意識が高まった深い思いやりの気持ちに発展していくことができると考えた。

(2) 広がっていく「思いやり」

深い思いやりとは、親切、思いやりの後に、相手の心情に足枷を残さないことであると考え。行為自体がどんなに素晴らしいことであっても、最終的に相手がどのような心情になっているのかまで考えていくことが、必要なのである。本主題を学ぶことを通して、褒められたい気持ちが残っていて当たり前な4年生が、先のことを考えて相手のために黙っていることに対して、自分もそうありたいと願う姿を期待している。

【視点② 子どもが新しい価値に迫るための教師の関わり】

(1) 価値を共有した後の更なる深まり

本教材での畑の水やり当番は、暑い夏の出来事で、畑が広く、ホースも重く、中休みいっぱい時間がかかる重労働である。そんな重労働の水やり当番を、欠席した子に代わって自主的に行う男の子が登場する。1人目は、つよし君である。率先して仕事を引き受けて、汗びっしょりになりながら教室に戻ってきた彼と、彼を笑顔で迎える級友たち。つよし君の考えたことをしっかりと共有することで、こういち君の「思いやり」がより引き立つのである。

(2) 「思いやり」の広がりが分かる板書構成

つよし君のがんばりや心情を共有した後に、同じ重労働をしたのに何も言わないでいるこういち君。つよし君の言動を知っている児童には、不思議に感じる子もいるはずである。「どうして何も言わないのか」について考えていく中で、徐々に児童が「何も言わない」ことの意味を語り始めると考える。発言内容を、自分・学級・つよし・いく子の誰に対してなのかを整理することによって、児童の価値理解がより進むと考える。

評価基準

相手のことを思いやり、進んで親切にすること。

主題構成 (5時間扱い)

高学年に向けて、もっと心を1つにしていこう。

② 「心の信号機」 B 親切、思いやり (学研)

障害のある人は本当に困っていることがあるんだ。何か役に立てるといいな。

声をかけた「僕」はどんな気持ちになったのだろうか

男の人が無事で何より

声をかけてよかった

清々しい気持ちになったんだね

③ 「心と心のあく手」 B 親切、思いやり (学研)

正しいと思ったことでも、相手の気持ちを考えて行動することが大切だね。

心と心の握手って何だろうか

前に断られたのに…

ついて行っただけだよ

温かい気持ち同士が繋がったんだね

① 「心にひびくかねの音」 A 希望と勇気、努力と強い意志 (学研)

友達と意見が違って、必要な時には、はっきりと言わなくてはならないんだ。

つぐみを追い払った時、どんな気持ちだったのだろうか

みんなに嫌われるかも

つぐみがかわいそうだ

後悔しないように、正しいと判断したことは勇気を出して実行しよう。

国語

「こんぎつね」

登場人物の性格や気持ちの変化を読み取りながら、話し合いを通して言葉では表現されていない思いやりの心情について学ぶ。

④ 「水やり当番」 B 親切、思いやり (自作)

相手に「すまない」と思わせないことの方が、より深い思いやりになるんだ。

どうして、何も言わなかったのだろうか

はずかしがりやの性格だから

言うといく子が落ち込んでしまう

いく子やつよしの気持ちやクラスのことを考えて黙っていたんだね。



⑤ 「温かい言葉」 B 親切、思いやり (学研)

断られたけれど、相手の気持ちを尊重しているからこそ、素直に謝ることができるんだ。

謝った時のお兄さんは、どんな気持ちなのだろう

別に強く言わなくてもいいのに

いらぬ心配だったなあ

気持ちを押し量れなかったことを詫言った。心が広いな。

学級活動

「今日のスター」

- ・帰りの会で親切だった人、思いやりのあった人を発表する。
- ・各教科の授業の振り返りでも、随時他者意識を醸成する。

周りの人の気持ちや後先をよく考えて行動してくと、もっと心が1つになっていくね。

本時案 (4 / 5)

本時の目標

- ・登場する人物の優しさについて話し合う活動を通して、先のことまでも考えて相手のことを思いやろうとする心情を深める。

本時の学習展開の構想

学習展開と主な子どもの思考の流れ	教師の関わり				
<p>思いやりや親切について理解していて思いやりのある行動が多く見られる一方で、自分の言動がどのように相手に伝わるかまで、見えていない子もいる。</p> <p>○「水やり当番」の範読を聞く。 ○自分のペースで教材を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">畑の水やり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・広い畑 <li style="width: 50%;">・中休みがなくなる <li style="width: 50%;">・とても暑い <li style="width: 50%;">・体中が汗だらけ <li style="width: 50%;">・ホースがずっしりと重い <li style="width: 50%;">・一人でやるしかない <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">とても大変！</p> </div> <p>なのに…</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>つよしは、どんなことを考えて水やりに行ったのだろうか。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>《自分のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝されたい ・ほめられたい </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>《野菜のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑くてかわいそう ・枯れてしまいそう </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>《いく子のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れたら悲しむ ・責任を感じてしまう </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>《クラスのため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭を楽しみにしている ・今まで交代でお世話してきた </td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">つよし君、優しい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">こういち君も水やりしたのに…</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>どうして何も言わないのだろう。</p> </div> <p>○自分の考えを書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">自分</div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">つよし</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">いく子</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">申し訳ない気持ちでいっぱい</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>いく子さんやつよし君への深い思いやりなんだね。</p> </div> <p>○今日の学習で自分が考えたことを書こう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>先のことを考えて、こういち君は本当に優しいなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>私も、相手のことを心の底から思いやっていたいな。</p> </div> </div>	<p>《自分のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝されたい ・ほめられたい 	<p>《野菜のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑くてかわいそう ・枯れてしまいそう 	<p>《いく子のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れたら悲しむ ・責任を感じてしまう 	<p>《クラスのため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭を楽しみにしている ・今まで交代でお世話してきた 	<p>・初めて教材に触れるので、内容を把握できるように、読み取りの時間を確保する。</p> <p>・児童の体験を掘り起こしながら、共感的に理解できるように促す。</p> <p>・意見の根拠を基に、整理して板書をする。</p> <p>・つよし君の行いも立派であることを、共有できるように導く。</p> <p>・違いがより浮き彫りになっていくように、問い返していく。</p> <p>・児童の発言を聞き取り、まとめとして引用していく。</p> <p>・まとめが総意となっているか確認する。</p>
<p>《自分のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝されたい ・ほめられたい 	<p>《野菜のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑くてかわいそう ・枯れてしまいそう 				
<p>《いく子のため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れたら悲しむ ・責任を感じてしまう 	<p>《クラスのため》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭を楽しみにしている ・今まで交代でお世話してきた 				

- 評価**
- 何も言わなかった登場人物の心情について、様々な理由が考えられることを理解していたか。
 - 相手の気持ちを考えて何も言わなかったことに対して、自分との関わりで考えることができたか。